

花粉による鼻づまり、鼻水、くしゃみに

エージーアレルカットEX_c <季節性アレルギー専用>**第2類医薬品**

このお薬は？

販売名	エージーアレルカットEX _c <季節性アレルギー専用>
成分・分量 (100g中)	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル 0.1g
医薬品分類	指定第2類医薬品

このお薬の効果は？

- このお薬は、合成副腎皮質ホルモン剤(ステロイド)と呼ばれるグループに属する点鼻薬です。
- このお薬は、アレルギー反応を抑え、花粉による季節性アレルギーの鼻の症状を緩和します。
- このお薬は、次の症状の方が使用できます。
花粉による季節性アレルギーの次のような症状の緩和：
鼻づまり、鼻みず(鼻汁過多)、くしゃみ
- 十分な効果を得るために、定められた用法どおりに使用することが重要です。

このお薬を購入する前に、確認すべきことは？

次の人は、このお薬を使用することはできません

使用上の注意	理由
次の診断を受けた人 全身の真菌症、結核性疾患、 高血圧、糖尿病、反復性鼻出血、 ぜんそく、緑内障、感染症	左記の疾患を悪化させるおそれがあります。
鼻孔が化膿(毛根の感染によって、 膿(うみ)がたまり、痛みやはれを伴う) している人	化膿部位を悪化させる可能性があります。
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人	アレルギー症状を再発することがあります。
18歳未満の人	本剤と同じ有効成分を含有する医療用点鼻薬の使用上の注意に「長期、大量使用により発育障害をきたすおそれがある」との記載があることから、慎重を期して使用を禁止しました。
妊婦又は妊娠していると思われる人	本剤と同じ有効成分を含有する医療用点鼻薬の使用上の注意に「妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること」との記載があることから、慎重を期して使用を禁止しました。
ステロイド点鼻薬を過去1年間のうち3カ月以上使用した人	安全性を考慮し、過去1年以内にステロイド点鼻薬を3カ月以上使用したことがある人の使用を禁止しました。

- 本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3カ月を超えて使用しないで下さい。(3カ月を超えた使用が必要な場合には、他の疾患の可能性があるので耳鼻咽喉科専門医に相談して下さい)

理由：安全性を考慮し、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3カ月を超えて使用する場合は耳鼻咽喉科専門医へ相談することとしました。なお、使用していた薬剤に不明な点がありましたら、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。

- 本剤の使用後は、ステロイド点鼻薬を使用しないで下さい。
ただし、医師から処方された場合は、その指示に従って下さい。
理由：本剤の使用は、安全性を考慮し、1年間に3カ月を超えた使用を制限していることから、漫然とした使用を避けるため、使用後は本剤を含めた他のステロイド点鼻薬の使用を禁止しました。また、医師からの処方箋により使用する場合は、医師の管理下で使用されるため、「その指示に従って下さい」としました。

- 過量投与しないで下さい。
理由：副作用があらわれやすくなります。
- 本剤と同じ効果を持つ薬と一緒に使用しないで下さい。
理由：同じ効果を持つ薬と一緒に使用した場合、作用が増強したり、副作用があらわれやすくなるため、使用を禁止しました。

次の人は、このお薬を使用する際に注意が必要です
購入する前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

使用上の注意	理由
医師の治療を受けている人	他の薬剤との相互作用を起こすことがあります。
減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人	治療の効果に影響を及ぼすことがあります。
頭、額や頬などに痛みがあり、黄色や緑色などの鼻汁のある人(感染性副鼻腔炎)	このような症状の方は、他の治療法が必要となる場合があります。
授乳中の人	授乳中の方は、十分な服薬指導のもとに使用する必要があります。
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人	薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人は、再び薬などでアレルギーを起こすことがあります。
季節性アレルギーによる症状が他の原因による症状がはっきりしない人	本剤は、花粉による季節性アレルギー症状に効果を発揮します。他の疾患には効果がない場合があります。また、季節に関係なく一年を通じて症状が続く場合は通年性アレルギーの可能性があるため、医師に相談して下さい。
高齢者	高齢者では、生理機能の低下により作用が強くあらわれることがあります。また、鼻の状態が乾燥しやすくなります。
肥厚性鼻炎 ^{*1} や鼻たけ(鼻ポリープ) ^{*2} の人 ※1：鼻のまわりが重苦しく、少量の粘性性又は黄色や緑色の鼻汁がでる ※2：鼻づまり、鼻声、鼻の奥の異物感などがある	このような症状の方は、十分な効果がない場合があります。他の治療が必要な場合があります。
長期又は大量の全身性ステロイド療法を受けている人	薬の作用が低下することがあります。
現在、他に使用している薬がある人	同じ効果をもつ薬と一緒に使用した場合、作用が増強したり、副作用があらわれやすくなります。

このお薬の使い方は？

- 使用量及び回数

年齢	1回使用量	1日使用回数
成人 (18歳以上)	左右の鼻腔内にそれぞれ1噴霧ずつ	通常2回(朝・夕)
18歳未満	使用しないで下さい	
1日最大4回(8噴霧)まで使用してもかまいませんが、使用間隔は3時間以上おいて下さい。 ●症状が改善すれば使用回数を減らして下さい。 ●症状が再び悪化した場合は、使用回数を増やしてもかまいません。 ●1年間に3カ月を超えて使用しないで下さい。		

次のページに続く

○ **使用法に関する注意**

- 本剤は、ベクロメタゾンプロピオン酸エステル(ステロイド)を配合していますので、過量に使用したり、間違った使用法で使用すると、副作用が起こりやすくなる場合がありますので、定められた使用法を厳守して下さい。
- 点鼻用にのみ使用して下さい。
- 使用時に味がした場合、口をゆすいで下さい。

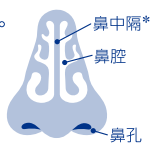
○ **どのように使用するか?**



- ① 鼻孔が化膿している人は使用できません。
- ② 使用前にやさしく鼻をかんで下さい。(あまりきつくかまないで下さい)
- ③ 青いキャップをはずして、図のように容器を持って下さい。
(使い始めは、薬液が噴霧するまで数回、空押しして下さい)
- ④ ノズルの先を軽く鼻腔内に入れ、薬液を1回噴霧して下さい。
もう一方の鼻腔でも同じ操作を繰り返して下さい。
- ⑤ 使用後はノズルを清潔なティッシュペーパー等でふいて、キャップを閉めて下さい。

○ **使用にあたっての注意**

- 使用前には鼻をかみ、鼻腔のとおりをよくしておいて下さい。
- 容器の先が鼻汁などに触れると、薬液が汚染されることがありますので注意して下さい。
- ノズルが鼻中隔*に向かないよう、鼻腔内にまっすぐ入れて噴霧して下さい。特に右利きの方では右の鼻中隔に、左利きの方は左の鼻中隔に向きやすいため注意して下さい。
- 使用後はノズルをティッシュペーパー等でふいて、清潔に保って下さい。
- ノズルの先端を針などで突くのは、折れたとき大変危険ですので、絶対におやめ下さい。



*鼻中隔: 鼻の穴の中にある鼻腔を左右に仕切る隔壁

○ **この薬を適切に使用するためには?**

- 本剤は点鼻薬で、飲み薬ではありません。定められた投与経路や適用部位以外への使用は副作用を引き起こすおそれがあります。
- 使用時に味がした場合、口をゆすいで下さい。不明の点があれば薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
- 本剤は通年性アレルギー性鼻炎の人は使用しないで下さい。通年性アレルギー性鼻炎は、ダニ、ハウスダスト等により1年を通して症状があらわれることから、漫然と使用することを防ぐため、通年性アレルギー性鼻炎への使用を禁止しています。
- 本剤は、安全性の観点から他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3カ月を超えて使用する場合には耳鼻咽喉科専門医への相談が必要になります。不明な点があれば、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

○ **使用し忘れた場合の対応**

- 2回分を1度に使用しないで下さい。

○ **多く使用した時(過量使用時)の対応**

- 異常を感じたら医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

このお薬の使用中に気をつけなければならないことは?

使用上の注意	理由
使用後、頭、顔や頬などに痛みがでたり、鼻汁が黄色や緑色などを呈し、通常と異なる症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。(他の疾患が併発していることがあります)	このような症状があらわれた場合、他の病気が併発していることがあります。
1週間位(1日最大4回(8噴霧)まで)使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。	症状の改善がみられない場合、他の病気の可能性があります。

副作用は?

まれに起こる特にご注意いただきたい重篤な副作用と、主な症状を記載しました。副作用であれば、記載した症状のうち、いくつかの症状が同じ時期にあらわれることが一般的です。その場合には、直ちに使用を中止し、医師の診療を受けて下さい。

重篤な副作用	症状	理由
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。	まれにアナフィラキシーショックが起こることが報告されています。

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

部位	自覚症状
全身	意識の混濁
顔面	声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ
胸部	息苦しさ、動悸
皮膚	皮膚のかゆみ、じんましん

使用後、次のような症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状	理由
鼻	鼻出血、鼻の中のかさぶた、刺激感、かゆみ、乾燥感、不快感、くしゃみの発作、嗅覚異常、化膿症状(毛根の感染によって、膿(うみ)がたまり、痛みやはれを伴う)	今までに副作用として報告されている症状です。
のど	刺激感、異物感、化膿症状(感染によって、のどの奥に白っぽい膿(うみ)がたまり、痛みやはれを伴う)	
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ	
精神神経系	頭痛、めまい	
消化器	吐き気・嘔吐、下痢、食欲不振	
その他	ぜんそくの発現、目の痛み、目のかすみ、動悸、血圧上昇	

鼻出血は鼻を強くかんだ場合などにも起こりますが、たびたび鼻出血が起きたり、鼻の中にかさぶたができた場合には、鼻中隔穿孔(鼻中隔に穴が開く状態)に進行する可能性もありますので、直ちに使用を中止し、医師の診療を受けて下さい。

このお薬に含まれているのは?

有効成分	100g中	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	0.1g
はたらき	鼻粘膜に作用して、鼻づまり・鼻水等をおさえます。		
添加物	カルボキシビニルポリマー、L-アルギニン、エタノール、等張化剤、ベンザルコニウム塩化物、エデト酸Na、ハッカ油、トメントール、ポリソルベート80、pH調節剤		

・本剤はアルコールを含んでいますので、しみることがあります。

その他

○ **このお薬の保管方法は?**

- 直射日光の当たらない涼しい所にキャップをして保管して下さい。
- 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり、品質が変わります)

○ **他の人と共用しないで下さい。**

- 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また、使用期限内であっても、開封後は速やかに使用して下さい。

このお薬についてのお問い合わせ先は?

第一三共ヘルスケア株式会社

<https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>
 お客様相談室
 〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10
 電話 0120-337-336
 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、当社休日を除く)

お客様用文書について

お客様用文書は、使用者の皆様や家族の方などに、一般用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、直ちに医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。ご不明な点などありましたら、「お問い合わせ先」にお尋ね下さい。さらに詳しい情報として、「一般用医薬品・要指導医薬品 情報検索」
<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/otcSearch/>に添付文書情報が掲載されています。